



県内主要産業の動向

2016年12月・2017年1月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	16年11月	16年12月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注はホテル、レストラン向け中心に依然低調。品目別では、スプーン・フォークの動きが鈍いほか、ナイフも不振。競合する中国産との製品差別化に各企業とも苦慮。そうした中、ナイフ製造技術の若手への伝承のため、1月末から3月末まで2カ月間、組合主催の研修事業を実施中。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は総じて低調。外食産業の低迷から、主力商品である厨房用器物が不振。一方、異物混入防止等の安全重視志向がフォローの風となり、金属製保存容器には引き合いが続いている。足下では、各企業とも原材料費や人件費等の高騰によるコスト増加が懸念材料との声が聞かれた。
作業工具	◐	◐	→	国内向け販売はやや弱含みで推移。輸出も業者毎に波があり一時的に落ち込み。但し、東南アジアでの日本製品需要は依然高く、円安傾向も当面はフォローの風に。今後は、現地製品の品質向上も進んでおり、競合激化が予想される。採算面では鋼材、燃料価格の上昇が懸念材料に。
電子部品 ・デバイス	◐	◐	↗	受注は持ち直し。世界的に半導体市況が復調しており、県内でも半導体およびその関連受注が改善。また、電子部品関連でも全般的に盛り上がりが見えつつある。受注増に対応するため雇用を増やしたいが、人手不足感が強く人員確保が非常に困難となっているとの声が多く聞かれた。
鋳物	●	●	→	受注は依然低調。工作機械向けは大型・小型とも低迷が続く。また、自動車向けも弱い。そうした中、IT関連や建機向けなどで動き。鉄スクラップ価格の上昇傾向に加え、円安基調による輸入副資材価格の値上げも見込まれており、先行きはコスト面でも厳しさが見込まれる。
金型	◐	◐	→	受注は横ばい。自動車関連は各社まちまちな状況。暖房機関連は前月並み水準で推移。県央地区での資材の共同購入動向は前月を若干下回る水準で、受注に一服感も。産地では、受注は数量的にはまずまずだが、納品価格の値戻しが進まず、収益面ではなお厳しいとの声も聞かれた。
一般機械	◐	◐	↘	スマートフォン関連は需要増に繋がる好材料が乏しい。建設・プラント関連は全般的に弱含み。自動車関連は北米市場向け中型車を中心に増産傾向。航空機関連は欧州、新興国の旅客機需要で高水準を維持。外需では、中国は底離れつつあるが依然ボリューム感は小さい。また今後の米国の保護主義的政策がもたらす受注環境の変化に注視。



業種	景況			コメント
	16年11月	16年12月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、冬季のため展示会等イベント数が少ないことに加え、集客率も低く、受注量は前年を下回る水準。白生地等の資材価格はメーカーでの在庫水準の高まりとともに低下傾向で、収益面では幾分改善。五泉産地では、生産量が前年比ほぼ横這い。先行きは、消費低迷により両産地とも不透明。
合織織物	●	●	→	栃尾産地は春夏物最終生産期。生産量は前年並み。受注が細っており、生産の切り上げは例年より早め。足下は秋物受注期入りしたが、出足は低調。見附産地は春物最終生産期。婦人服を中心に生産量は前年並みを確保。足下では秋物受注期入り。紳士服にも引き合いがみられ、受注環境の好転に期待。
ニット	●	●	→	春物生産期。産地での生産量は前年割れが続く。アパレルは販売不振から、守りの経営姿勢を強めており、発注スタンスもさらに慎重に。足下は追加受注もみられず、先行き不透明感が強まっている。そうした中、五泉産地では独自ブランドのデザインを作成して、販路拡大に注力する動きもみられる。
木工家具	●	●	→	業況は総じて低調。業務用では年末商戦向け受注が盛り上がり散発的な小口受注にとどまる。足下では春先の商戦向け受注に動きが出てきた。家庭用では大型商品の需要が乏しく小物類にシフトする動きもみられるが、受注増加には至らず。採算面も厳しく事業規模の維持に苦戦している。
清酒	●	●	→	12月の出荷量は、県内向け・県外向けとも前年を下回った。最需要期であったが、消費者の節約志向などから飲食店向けやギフト向けの出荷が不振だった。酒類別では普通酒の落ち込みが目立つ。足下では、気温が低下しているものの、需要の変化はあまりみられていないとの声が多い。
米菓	◐	◐	→	12月は最需要期を迎え、定番品や土産向け商品が堅調で売上は前年を若干上回った。一方、1月は定番品が振るわず、前年を下回って推移。そうした中、一部メーカーでは海外展開の強化により新規顧客開拓の動き。生産現場は人手不足が深刻化しており、今後は省力化が課題に。
建設	◐	◐	→	公共工事は、県や独立行政法人等からの発注増により持ち直している。民間工事は、福祉施設などに底堅い動きがある。住宅建設は、持家、貸家とも堅調な動きを示している。足下では、補正予算で手当てされた補助金を使った住宅改修（エコリフォーム）の動きも出ている。
大型小売店	◐	◐	→	12月は衣料品が振るわなかったものの、食品やクリスマス商戦が堅調で売上は前年並を確保。年末年始商戦も天候に恵まれ好調。足下では、降雪の影響から客足が伸び悩み傾向だが、長靴やスコップなどの雪関連商品が堅調で総じて前年並みを維持。青果価格高騰も一段落。